

札幌社保協 FAXニュース

2010年 1月 8日(金)
社保協事務局 発行
Tel823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

2010年、今年も
みんなで協力し
がんばりましょう

後期高齢者医療制度 廃止に向けた大運動を!



後期高齢者医療制度の廃止が新政権で先延ばしされようとしています。厚労省では12月から「高齢者医療制度改革会議」が立ち上げられ、議論が開始されています。

戻すには事務的作業やシステム改修など大変であるとか、老人保健制度の問題点をあげたり、即時廃止にしない弁解をしています。

しかしこの制度が高齢者を差別し、医療費を抑制するためにつくられた制度であり、今でも毎日4000人が誕生日とともにこの制度に入れられています。しかも、2010年度からの保険料は値上がり避けられない状況です。

「後期高齢者医療制度に怒る道民の会」では、これ以上制度を存続させるのは、総選挙での公約に反し、差別医療を容認するものであり、国民の大きな運動と世論を起こしていくため、2月6日に道民集会を計画しています。多くの人に呼びかけ成功させましょう。

後期高齢者医療制度は
ただちに廃止!道民集会

2月6日(土)14時~16時
菊水ビル4階

(地下鉄菊水駅下車、勤医協札幌病院裏)
オープニング

後期高齢者医療の情勢報告
リレートーク 集会アピール
国会議員あいさつ など

<入場無料>

清田区一集会成功に向け実行委員会



清田区の革新懇が呼びかけ、8日午後後期高齢者医療の学習会と、2.6道民集会の成功に向けた実行委員会の結成が行われました。

年金者組合、生活と健康を守る会、新婦人など各団体から8人が参加し、斉藤札幌社保協事務局長を講師に、後期高齢者医療の情勢と廃止に向けての運動を学習しました。参加者からは「民主党政権は選挙公約を守らず、まるで詐欺のようだ」という声も出されました。

学習会后、実行委員会結成を確認し、集会成功に向けて宣伝や組織を行うことなどを確認しました。

今でも保育所は大変なのに! 国は最低基準を守って!

12月25日夜、保育を守ろう!クリスマス宣伝を札幌保育連・保育労組が行ないました。この日は東京の厚労省前で保育関係者が保育を守れの行動を行ったのに呼応してとりくまれたもので、仕事帰りの保育士や保育園の父母ら25人が参加し、ピラの入ったポケットティッシュを配布し、マイクで訴えました。

国は前政権時代から、保育を介護保険のように直接契約方式や営利企業の参入を認めるなど改悪を推し進めてきました。新政権になっても動きは進むだけでなく、待機児童の解消のためなどと称して保育園の広さなど最低基準を「緩和」する方向を打ち出しました。

保育士や父母の代表は「今の基準でさえ子ども達が過ごすには狭く、昼寝で子どもが寝返りできない程です。詰め込みで待機を解消しようなんてひどい、きちんと国の基準を守ってください!」と訴えました。



宣伝に参加したサンタ?と保育士・父母の皆さん